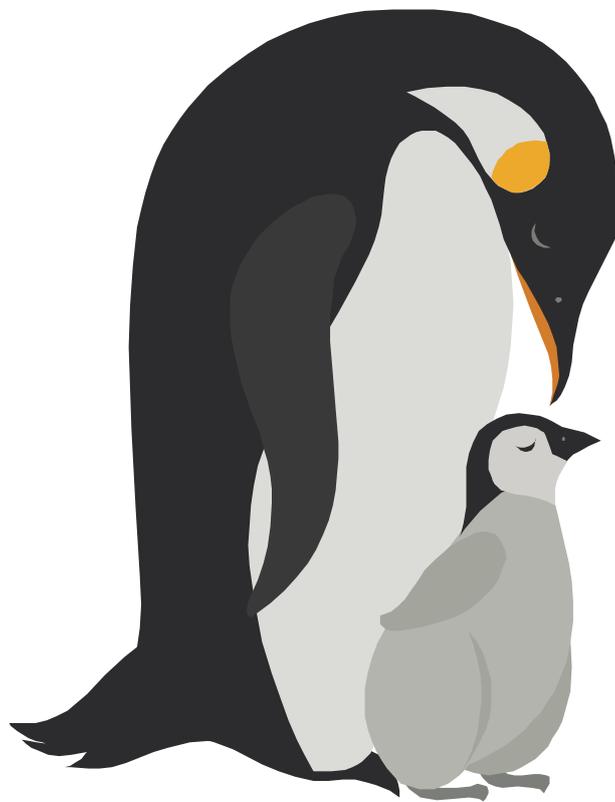


私の生活記録ノート

～障害のある人と家族と支援者をつなぐ～



名前

市川手をつなぐ親の会

(私の生活記録ノートは1%支援制度事業の助成を受けて作りました 2009年12月)

みなさまへ

私の生活記録ノート

～障害のある人と家族と支援者をつなぐ～

はじめに

どんな障害があっても、いい人生を全うして欲しい…。そう願って私たち親の会は、“教育や福祉の充実”と“健康で社会参加できる地域づくり”を目指した活動を続けています。けれども加えてもうひとつ、とても大事なことがあります。それがこの「生活記録ノート」作成と普及・活用の取組みです。

みなさん、周りのいろいろな方々の支えを戴きながら頑張っ、障害のある我が子の日々の暮らしを積み重ねてきていますよね。そのことが、たとえ親が係われなくなったとしても、引き続がれて欲しいと願うのが家族みんなの気持ちです。…我が子の暮らしが大きく変わらずに続きますように…。そのためには、我が子の成長と生活の様子や長所短所や苦手なことへの対応工夫など記し、経済的基盤や家族の願いも書き残しましょう。“親なき後を、親あるうちに“出来る、大切なことです。心を込めて、障害のある人と家族と支援者をつなぐ、生活記録ノートにしていきましょう。幼児期・学齢期のご家族のみなさまは、成長の記録としてもご活用ください。

これは、書いてどこかに提出するものではありません。勿論全部を埋める必要もありません。

<記入・活用のポイント>

- まずは、クリアファイルに見やすい様に納めながら、全体に目を通して下さい。訂正やライフステージに応じて必要と思われるページは、数部コピーしておくことをお勧めします。
 - 書きやすいところから、また、優先すべき事柄から、書き始めてください。
 - 家族で相談しながら埋めていけるといいですね。
また、この生活記録ノートの存在を、家族や頼れる友人に知らせておきましょう。
 - 学齢期は、学校の先生や福祉の支援者などと、定期的に共通認識していきましょう。個別教育計画などのコピーをファイルに入れておくのもいいです。
 - 大人の方は、最も関っている福祉の場の支援者と、定期的に共通認識をしていきましょう。個別支援計画、面談などの場面で、記録ノートを活用したり、記入したりできます。
 - 記録することで、子を客観的に見ることができ、親の考え方も整理できます。将来の成年後見申し立てにも役立つ記録になります。
 - とくに、プライベートなところ（財産、相続関係）は、別に入れて保管しておいてください。
 - 重要な個人情報ですから、大切に保管してください。
- (先行して取り組んだ船橋、松戸、千葉の冊子を参考にさせていただきました。ありがとうございました。)

皆さんに活用していただき、少しでもお役に立てていただければ幸いです。 2009. 12

私の生活記録ノート作成委員会一同

問い合わせ先
(書き方等々)

相談員： 浜本 396-8857 佐藤 373-0262 黒瀧 334-4024
富江 338-8899 諸谷 395-5381(学齢)
作成委員会： 鶴岡 339-1881(学齢) 村山 373-3880